

まちづくりのタネ発掘会について

1. 目的

地域や各分野で活躍されている懇話会委員と、市職員とが同じテーブルで自由に意見交換を行い、従来の懇話会では引き出しきれなかった率直な意見や多様な視点を引き出す。

また、その対話から得られた気づきやアイデアを「まちづくり推進事業」や新たな連携事業（マッチング）につながる“タネ”として把握することを目的とする。

2. 参加者

- ・第7期南区まちづくり懇話会委員 10名（全体司会の安部先生を除く）
- ・熊本市職員（南区役所各課の職員） 12名（各テーブルの司会者を含む） 計22名

3. 概要

【ルール】

- ・事前にテーマを決めず、参加者の関心や課題意識から議題を設定する。
- ・行政への要望ではなく、自分たちでできること・連携できることを前提に考える。
- ・課題だけではなく、すでにある取組や資源も共有する。
- ・解決に至らない場合も、課題の可視化や視点の共有を成果とする。
- ・出された意見は今後の施策検討の参考とし、すべての対応を約束するものではない。

【進め方】

- ① 自己紹介・アイスブレイク
- ② 地域・事業者・行政職員として取り組んでいることの共有 ⇒ テーマ設定
- ③ 困りごと、課題の整理
各自で付箋に書き出す → 共有 → グループニング
- ④ 課題を解決するための取組や連携先についての意見交換
- ⑤ 発表（話し合った内容の共有）